



NO. 657  
発行  
09・3月25日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部

# 雇用も賃上げも要求

09春闘総決起集会が三月六日十八時より新潟支部、東新潟機関区で開催されました。新潟支部を中心に各支部から四〇名を超える組合員や新潟地区労会議、建交労の仲間が結集しました。

## 連帯と激励のあいさつ

貨物協の勝山議長の司会あいさつで開会し、地本守橋委員長のあいさつ、来賓では、新潟地区労会議の阿部事務局長、建交労新潟鉄道地域本部の山崎執行委員長の連帯と激励のあいさつがそれぞれありました。



決意表明では、中越支部・斉藤委員長、東新潟機関区分会・小泉副分会長からありました。集会の最後は、守橋委員長の団結がんばるうで盛り上げました。終了後は、シユプレヒコールを参加者全体で力いっぱい行いました。この日は、新潟支部による宣伝カーでの街宣が展開されました。



## 守橋委員長あいさつ



貨物のJRカードの問題について、権利だったものがもぎ取られる。各労働組合も同じ闘いをしている。全体で決起していこう。

政局は混迷している。労働者の暮らし、生活を打開していくことが求められている。現在、そうならない状況だ。3月18日に自動車・電気など賃金回答が予定されているが、会社側は賃上げに応じないと表明している。ベア0に、このままでは妥結へ追い込まれる。

トヨタは賃下げも示唆している。労働者の反撃を、賃上げも雇用確保も基本要求だ。内部留保を吐き出させることで解決する。地域のみなさんと団結していく。

JR東日本～交渉について、夏季手当も含めて賃上げを要求した。他労組もやっているので国労としても春闘要求の中に、夏季手当も入れた。

JRは、他の大手と同様に景気は悪化していると主張。大手民間は、一時帰休・定期昇給見直しを言い出し、JRも、この動向を見ていこうとしている。2回目の交渉を3月10日に実施する。大変困難な交渉になる。

3月16日に貨物総行動が展開される。貨物は2回、交渉を実施、景気悪化が進み厳しい実態だ。低額回答は許さない。3月12日に交渉される。客・貨ともに後退局面を理由に賃金の引き下げを狙っている。雇用も賃上げも堅持して闘っていく。全体の連携をつくっていこう。



## 中越支部 斉藤委員長 あいさつ



決意表明では、各支部を代表し、中越支部・斉藤委員長からあいさつがありました。斉藤委員長は、『中越支部も厳しい労働実態だ。地域での連帯した行動を進めていく運動を中越からも盛り上げていく。JRカードの廃止は大きな問題だ。賃下げになる。全体の要求を掲げながら闘っていく決意だ』と力強い決意表明でした。



来賓  
あいさつ



新潟地区労会議  
阿部事務局長

国労から離れて4年になる。民間を中心に運動に参加している。大変な状況になっている。蒲原鉄道のバス・タクシー部門について、再建していかなければならないという状況だ。会社は再建策を持たずに賃下げを提示している。これから大変な状況になる。

銀行は住宅ローンの融資について、公務員だけになり、その他は貸し渋りとなっている。こういう時に何をしていくのか。

連合の自動車産業の労働組合代表が、再建するため、世界に負けたくないために労使が協力していくとあいさつした。連合はこういう状況だ。地区労は、連合が引き継いでいけないことをやっていく。連合では労働条件の改善は取り組めない。地区労は地域の労働運動へ参加していく。

権力者に対する民衆の力を！せいっぱいがんばっていく決意だ。



建交労新潟  
鉄道地域本部  
山崎執行委員長



雇用問題・貧困と格差をやめさせる。厳しい実態が続いている。労働者が組織しどれだけがんばっていくかが重要だ。未組織労働者へも結集させていく。派遣・パートなどの労働条件が切り下げられている。人間らしく生活できる暮らしを要求していく。

09春闘と安全問題・定年制・格差の問題、1047名・国鉄闘争の闘いなど同時に行動を展開してきた。職場だけでなく地域へも目を向けて闘っていくこと。連帯していくことだ。職場から要求で団結していくこと。

人間らしく生活できる暮らしをめざす。国労と共闘しながらがんばっていく。



東新潟機関区分分会  
小泉副分会長  
あいさつ

各分会を代表して東新潟機関区分会の小泉副分会長の決意表明がありました。  
小泉さんは、集金前段でも、JRカード廃止反対の闘いを全組合員に訴えました。小泉さんは「貨物協や貨物会社社員にとって死活問題だ。きつと闘い、勝利していく。御支援をお願いしたい。09春闘、貨物は輸送力の低下による要員の削減



が提案される。ペアロになると3年連続になる。一万円の要求を掲げ最後まで闘う。嘱託社員の実態について、出向され休日数が少ない。月間労働時間がオーバーになっている。月が発生している。主任の発令がされたが手当が支給されていない。乗務員の勤務もきつくなっている。嘱託社員の労働条件改善へ分会も闘っていく。一月五日JRカード廃止が提案された。世間の理解が得られないためと回答している。国鉄時代からの既得権を、なぜ廃止なのか。これからのがんばっていく決意だ」とあいさつされました。

国労は  
一人の困難を  
皆で解決

地方本部では六月十四日(日)に『組織拡大経験交流集会』(仮称)の開催を予定しています。集会には、長野地方本部の青年部を講師に要請しました。  
組織拡大は各職場で取り組んでいきますが、点から面にそして全体へ発展していきます。新潟地本でもこれから新採者など多くの人たちに国労加入を大いに呼びかけていきます。

地本組織拡大  
経験交流集会

6月14日(日)開く